

本県関係の答申物件概要

【重要文化財（建造物）】

○市民のための公共的機能を兼備した銀行建築（近代／商業・業務）

- ・名 称 きゅうおおわだぎんこうほんてんほんかん
旧大和田銀行本店本館
- ・員 数 本館 1 棟
附・建築図面 2 3 枚
暖房工事設計図 1 冊
昇降機 1 式
- ・所 在 地 敦賀市相生町 7 番 8 号
- ・所 有 者 敦賀市
- ・構造および形式 鉄骨煉瓦造一部鉄筋コンクリート造、建築面積 338.3 m²、
三階建地下一階、屋上塔屋付、南面及び東面柵付属
- ・指 定 基 準 意匠的に優秀なもの、歴史的価値の高いもの

- ・特徴と評価 旧大和田銀行本店本館は、大和田銀行創業者である大和田莊七の意向を受けて、食堂や集会室などの市民のための機能を備えた銀行として計画された。設計は京都帝国大学営繕課長の永瀬狂三らが担当し、昭和 2 年に竣工した。

旧大和田銀行本店本館は、内外観は幾何学意匠を基調としつつ、1 階外壁や内部の客溜などに古典的要素を取り入れて銀行建築らしい重厚さを備え、また出入り口の庇などには独自の意匠も織り交ぜながら、破たんなくまとめられている。限られた規模の中に、複数の地域への貢献を目指した地方の銀行建築として価値が高い。

なお、昭和の銀行建築としては、全国において初めての国指定である。また、県内においては、銀行建築の国指定は初めてとなる。

・建物の概要

旧大和田銀行本店は、古くから港町として栄え、近代には国際港として隆盛を誇った敦賀の町中心部に位置する。旧大和田銀行の敷地は南北および東の三方を道路に面し、本館建物が道路の南および東に面して建ち、北側に北面して前身の銀行建物が建っていた。現在、東側の道路はない。

建物は大正14（1925）年4月に起工し、昭和2（1927）年5月に竣工した。地上3階、地下1階の建物で、地上部分を鉄骨煉瓦造、地下を鉄筋コンクリート造とする。設計は京都帝国大学営繕課長の永瀬^{きょうぞう}狂三および同課嘱託技師の吉田克が担当し、施工は清水組（現・清水建設）京都支店が担当した。

東西24.2m、南北12.7mの矩形平面に、北東に5.5m四方の階段室となる塔屋をもうける。外観は、1階部分を西欧の古典的意匠を基調として、2・3階は簡明で近代的な意匠とし、半円アーチの庇など独特なデザインを組み合わせる。

1階は銀行の執務スペースで、営業室、金庫室、重役室などがあり、2階は迎賓用の会議室などが設けられ、3階は舞台をもつ集会室とする。地下1階は金庫室や機械室のほか、食堂が設けられている。集会室や食堂は市民に開放されたという。

以上のように、旧大和田銀行本店本館は銀行の用途のみならず、国際港敦賀に相応しい外観と、迎賓機能、公共的機能を兼ね備えた建物といえる。建築主である大和田荘七は敦賀港の整備などに寄与するとともに、敦賀商業会議所や町庁舎を寄付するなど、地域に大きく貢献した。本建築は、大和田氏の理想を具現化した銀行建築として高い価値を有する。

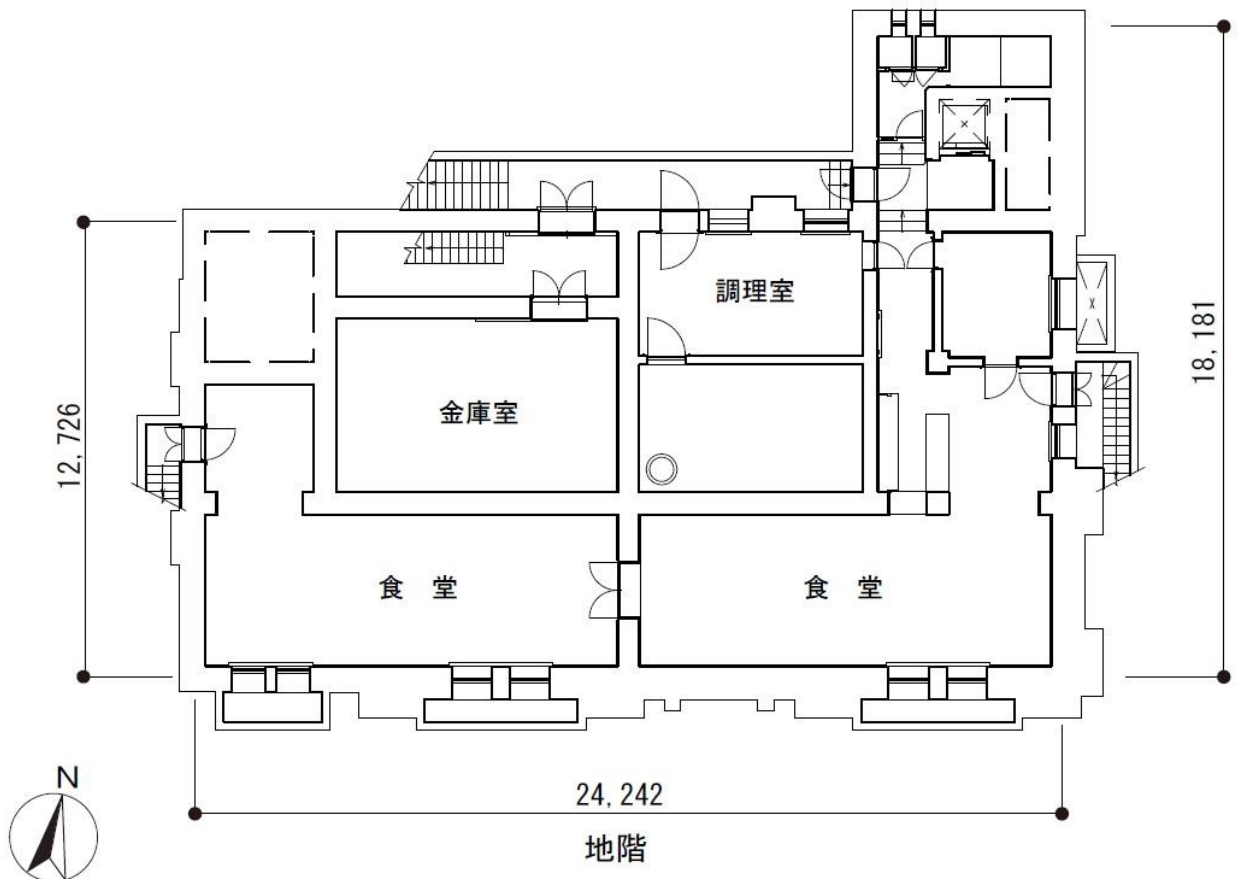
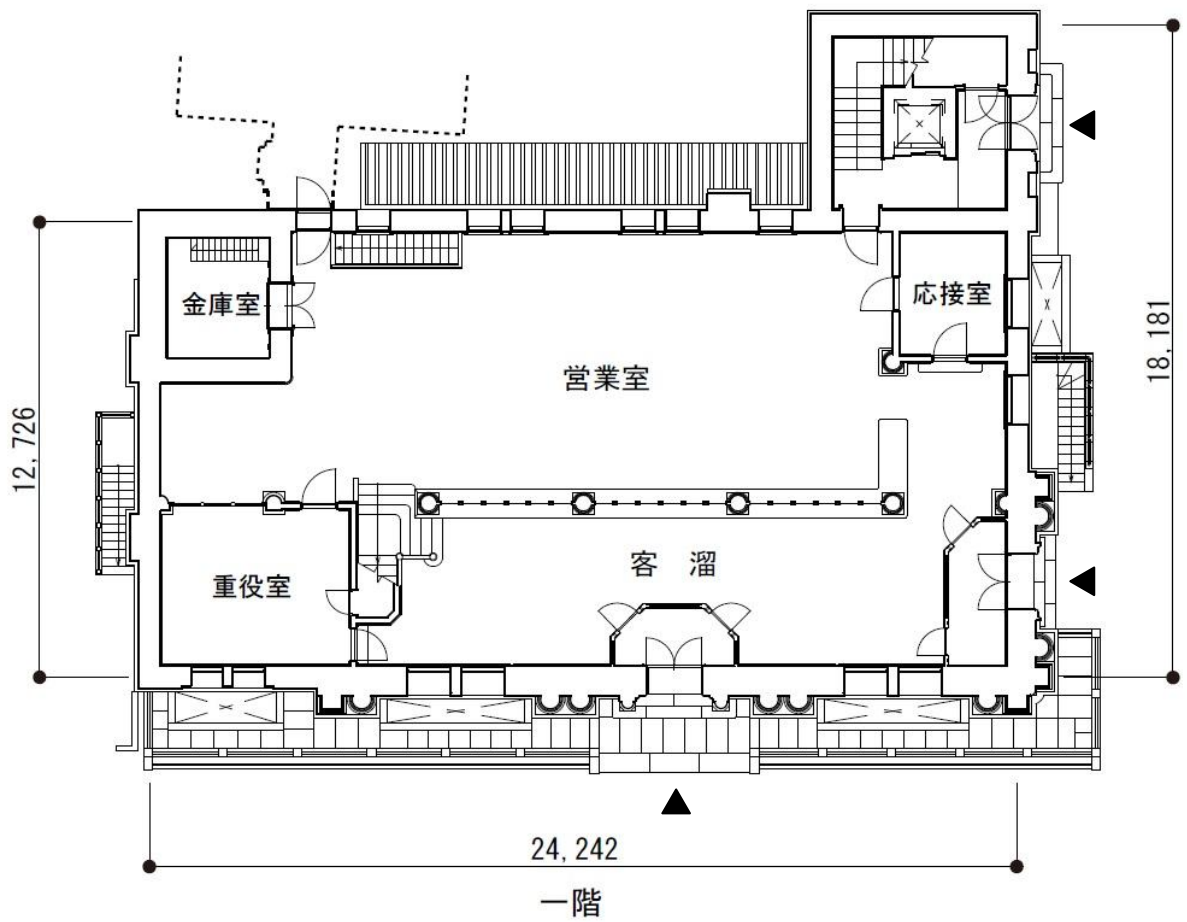
建物は、昭和52年まで合併などを経ながら銀行として利用され、その後敦賀市立民俗資料館を経て、平成5年より敦賀市立博物館として利用に供し、平成24～26年度の修理工事により銀行建築当初の姿が復元された。

なお、建築に関わる設計図書や、建築当初のエレベーター一式がこのこされ、建物の当初の姿をうかがい知るものとして、附指定となっている。

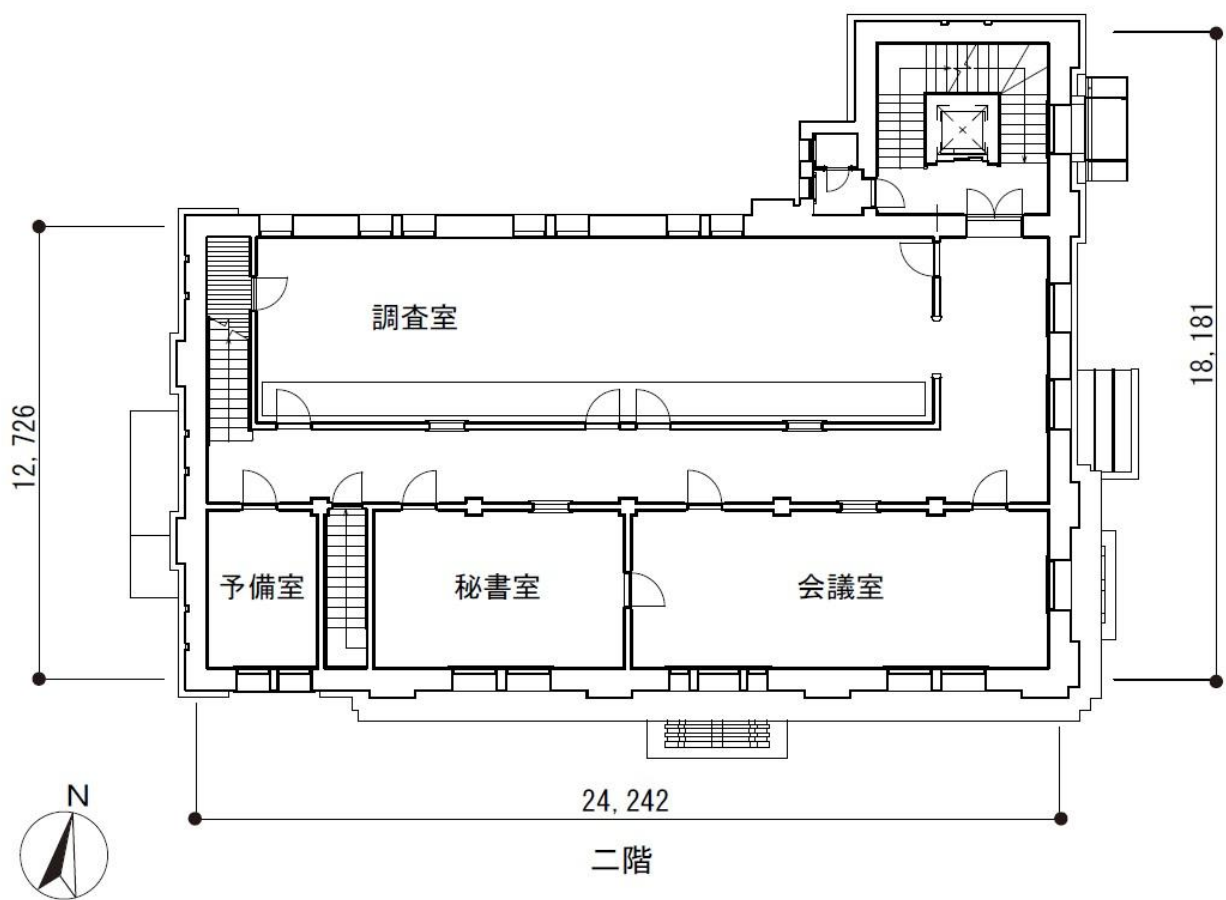
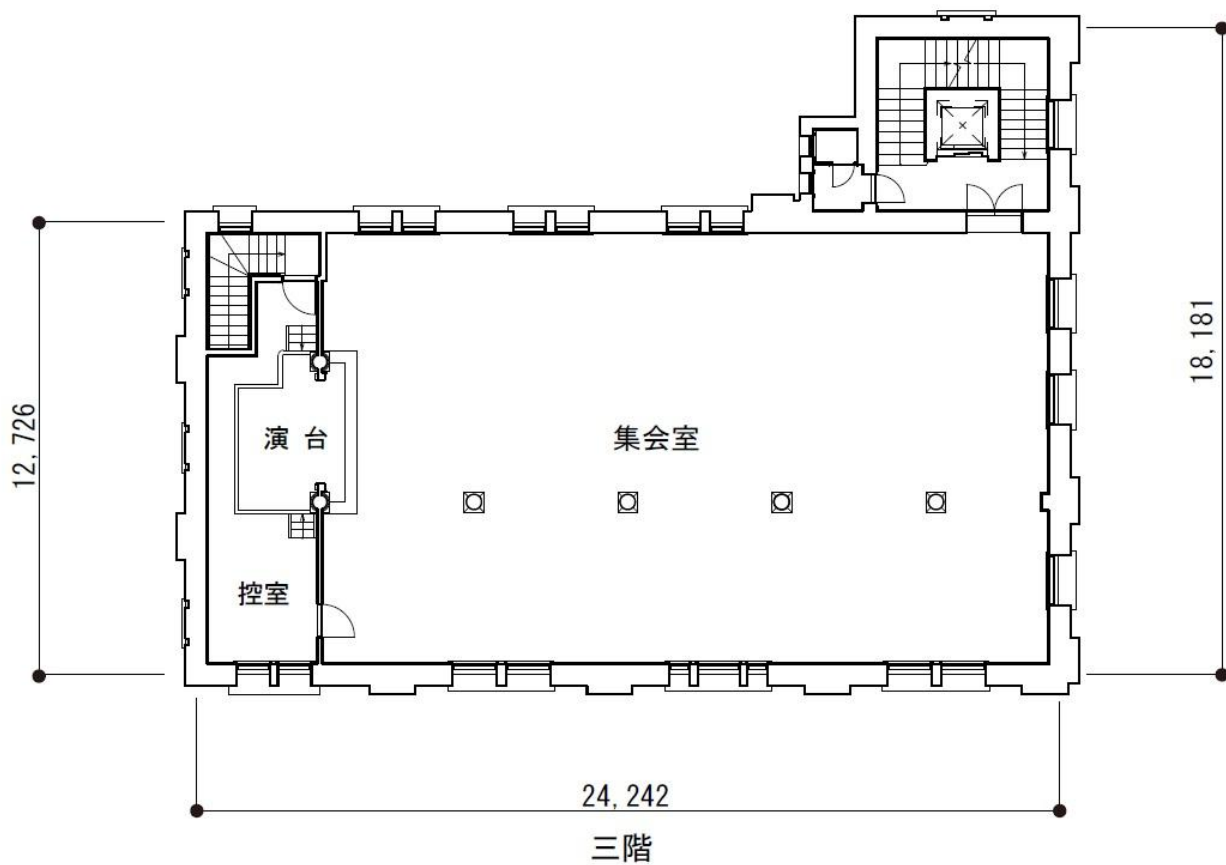
・これまでの指定 平成22年 福井県指定有形文化財



位置図



平面図 (地下1階・1階)



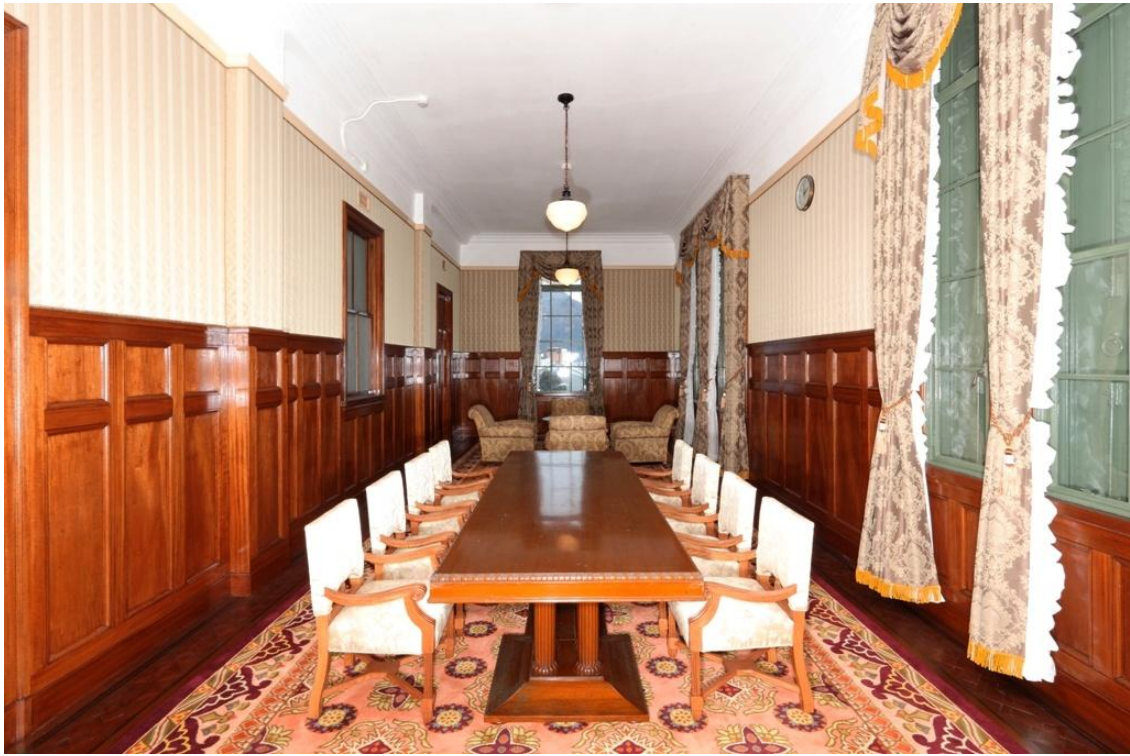
平面図 (2階・3階)



外 観



1階 営業室



2階 会議室



3階 集会室



地下1階 食堂



昇降機

福井県内の国指定・県指定等文化財

平成28年10月17日現在
(件)

区 分		国指定		国選定	国選択	国登録	県指定	備 考
		国 宝 特 別	重 文 国指定					
有 形 文化財	建造物	2	26			155	30	26→27
	絵 画		14				65	
	彫 刻		35				73	
	工芸品	3	7			1	25	
	書跡・典籍・古文書	1	13				19	
	考古資料		5				14	
	歴史資料		3				4	
	計	6	103			156	230	103→104
無 形 文化財	芸 能							
	工芸技術		1				5	
	計		1				5	
民 俗 文化財	有形民俗文化財		1			1	9	
	無形民俗文化財		5		10		62	
	計		6		10	1	71	
史跡・名勝・ 天然記念物	史 跡	1	23				29	
	名 勝	1	14			2	7	
	天然記念物	4	16			1	33	
	名勝天然記念物		1					
	計	6	54			3	69	
重要伝統的建造物群保存地区				2				
選定保存技術				1				
合 計		12	164					164→165
		176		3	10	161	375	176→177